

週刊「観光経済新聞」創刊70周年記念
論文コンテストの入賞作品を、10月3日
号から順次掲載しています。

創刊70周年論文コンテスト優秀賞

突然のことだった。二〇一六年四月十四日午後九時二十六分、熊本県益城町を震源地とした、マグニチュード7.3の大地震が、切りは混濁の渦に巻き込まれた。その時、人々はこの大きな地震が本震ではなく前震だったことを知る由もなかった。続いて悲劇は起き、自然が再び牙をむいたのだ。この大きな地震が起こった二日後、十六日の夜中一時二十五分、マグニチュード7.3を記録する大地震が再度熊本県を襲った。

熊本地震と呼ばれるこの地震で、甚大な被害を受けた阿蘇には、世界を代表するカルデラがあり、活動中の活火山の火口を間近で見ることが出来る場所として人気を集めている。また、「阿蘇ジオパーク」に認定されておらず世界のジオパークに認定されており、毎年たくさんの観光客が訪れる地として有名だ。農林水産省は、農山漁村地域において自然、文化、人々の交流を築きつつ滞在型の余暇活動のこをグリーンツーリズムと定義しており、阿蘇は正しく自然に癒されたい観光客にとっての格好のやすらぎの地であった。熊本地震によって、被災後四年経った現在もおお観光客の足が遠のいたままである。よって、この状況を打開するために何か良い方法はなにか、と考えたのが本論文の原動力だ。

本稿では、熊本地震によって大きな被害を受けた阿蘇の観光前後の観光について、当事者へのインタビューを軸に取り上げ、震災によって観光にもたらされる影響がどの程度のものであるかを明らかにする。そして、阿蘇の抱える現在の問題点をそれに応ずる解決策をいくつか挙げ、震災復興に繋がるイメージ戦略について考察する。

まず、本稿を書き進めるにあたり、観光の定義について述べる。一九九五年の観光政策審議会で、観光は「余暇時間の中で、日常生活圏を離れて行う様々な活動であって、触れ合い、学び、遊ぶといったことを目的とする」と定義された。要するに、観光とは、日々がそれぞれの自由時間を使って、日常生活圏から離れた「非日常」という世界へ足を運んで行う活動を指すと言える。

以上を踏まえて、ここからは本稿のテーマとなる熊本県阿蘇市と熊本地震について分析していく。先述のように、阿蘇市は二〇一六年、熊本地震に襲われ、その後の観光客数の回復に時間を要している。具体的に阿蘇市での地震による影響はどのようなものか、筆者が同市内にあるホテル、商店街、行政機関の三者に行ったインタビューを基にそれぞれ分析する。

この問題点を解決するために、何が一緒に動いているかというものは、やはり見受けられず個々の活動が自立した印象だった。

この問題点を解決するために、何が一緒に動いているかというものは、やはり見受けられず個々の活動が自立した印象だった。

この問題点を解決するために、何が一緒に動いているかというものは、やはり見受けられず個々の活動が自立した印象だった。

この問題点を解決するために、何が一緒に動いているかというものは、やはり見受けられず個々の活動が自立した印象だった。

この問題点を解決するために、何が一緒に動いているかというものは、やはり見受けられず個々の活動が自立した印象だった。

熊本地震による阿蘇観光業への影響と今後の発展と復興に向けて

國米 理奈古氏



【筆者略歴】熊本県出身。二〇一一年三月福岡女子学院中学校卒業。同年四月福岡女子学院高等学校入学。二年九月、同校よりメソヂカタマリエタ高校へ進学。四年三月福岡女子学院高等学校卒業。同年四月国際基督教大学教養学部入学。一九年九月、同校よりメソヂカタマリエタ高校へ進学。二年九月、同校よりメソヂカタマリエタ高校へ進学。二年九月、同校よりメソヂカタマリエタ高校へ進学。

補いながら動くことが望ましいのだが、今回インタビューを行って、何か一緒に動いているかというものは、やはり見受けられず個々の活動が自立した印象だった。

この問題点を解決するために、何が一緒に動いているかというものは、やはり見受けられず個々の活動が自立した印象だった。

参考文献
▲書籍・雑誌資料
有馬寛之・菊池俊夫編『よくわかる観光学』自然ソリスム学 朝倉書店 二〇一五年
王静・中村忠司編『新観光学入門』晃洋書房 二〇一〇年
国立大学法人熊本大学『4・14 16 想定を超える混乱に直面して 熊本大学熊本地震記録集』国立大学法人熊本大学、二〇一七年
▲ウェブ資料
二〇一六年四月二六日「注目される体験型観光産業：地方の集客力向上を図る観光コンテンツとして期待」みずほ総合研究所
https://www.mizuho-ri.co.jp/publication/research/pdf/insight/pl0426a.pdf
(2016年04月26日アクセス)
二〇一〇年09月0日「熊本地震で寸断の国道57号線 20年度復旧へ」日本経済新聞
https://www.nikkei.com/article/DXNNZ049S029Z000C19A9LX000/?_st=page_top
(2010年09月28日アクセス)
二〇一〇年「令和元年発行版 阿蘇市統計資料」阿蘇市役所
https://www.city.aso.kumamoto.jp/files/npldts/2019/06/outline20191.pdf
(2020年7月13日閲覧)
二〇二〇年01月27日「阿蘇地域アンセム」阿蘇市役所
https://www.city.aso.kumamoto.jp/kuma-moto/qa/trific/road_closed_nay/ (2020年4月10日アクセス)
二〇二〇年4月16日「国道57号北側復旧ルート・国道35号阿蘇大橋ルートの開通見込みについて」国土交通省
https://www.mlit.go.jp/report/press/rao101_hh_00131.html (2020年7月30日アクセス)